

本学の修学支援について

新入生導入教育

高校等から大学へ。その専門性は格段にアップします。本学では、モチベーションの維持、基礎学力レベルの把握等、高校段階での基礎的学力の修得を目的として、新入生導入教育を行います。

具体的には、AO入試、推薦入試の合格者を対象に、e-Learningを活用して、各入学予定者の学習進捗状況や理解度をリアルタイムに把握。個人に対応した支援を行います。また、入学後に、新入生全員を対象にしたプレースメントテストを実施。専門教育に耐え得る水準に達していない学生には、リメディアル教育を行い、専門教育への準備とします。

リメディアル教育

特に医療系学科の入学者に対しては、数学的対応力を高めるリメディアル教育を実施します。なお、全体的な講義の他に、学修支援センターに相談コーナーも設けていますので、理解について不安な箇所は、担当者の個別指導を受けることが可能です。

初年度納付金の延納・分納制度

入学手続きの際、本学では入学金と前期授業料などの合計、約67～89万円が必要となります。定められた期日までに一定の金額を準備しなければいけないことから、保護者への負担が大きいかも予想されるため、期日までに入学金を除く、授業料などの納付が困難な場合、延納もしくは分納することが可能です。この制度は、全ての入試区分の合格者が対象です。

延納とは、期日を最大2ヵ月猶予することです。また分納とは、納付金額を分割して納付することです。

兄弟姉妹の入学金返還制度

本学では、開学以来、兄弟や姉妹の方が入学するケースが増えています。そうした家庭を経済的に、少しでも支援したいという思いより、兄弟姉妹に卒業生や在学生がいる場合、一旦納入した入学金を入学後に全額返還する制度があります。

入学後に必要書類の提出が必要となります。

遠隔地出身者の帰省旅費支給制度

親元から遠く離れて暮らす学生の帰省を支援する制度です。本学(熊本県玉名市富尾)から、約1,000km圏外に、保護者の居住地がある場合、帰省に必要な交通費の全額を、年1回支援しています。

奨学金制度

学生が充実した学生生活を送るために、経済面から支援するものとして各種の奨学金制度があります。

本学で取り扱っている奨学金の種類は、大学独自の奨学金制度(原則4年次のみ)、日本学生支援機構奨学金、地方自治体・財団法人・民間団体等の奨学金制度があります。その中でも日本学生支援機構の奨学金は幅広く募集されています。

奨学金を希望する学生は、所定の掲示板に随時お知らせしますので見落としがないように注意してください。なお、不明な点がありましたら学生課へ相談してください。

就職支援

就職支援は、各学科の教授陣・就職支援室から成る就職委員会をブレインとする充実した就職システムで、一人ひとりの希望や適性に応じ細やかに対応。4年間を通じ多彩なガイダンスも開設し、全員の資格取得をはじめ、情報収集から就職活動まで全力でサポートします。

就職情報のページもありますので、詳しくはそちらのページを覗いてみてください。

保健管理センター

体調が急に悪くなったり、負傷したりした時の休養や応急処置をすることです。心身の健康状態についても心配事等があれば、いつでも相談に来て下さい。

【主な業務内容】

定期健康診断

学校保健法に基づき、毎年1回の定期健康診断を必ず受けなければなりません。

受診しない場合は、就職試験、実習等に必要な健康診断証明書の発行はできません。

応急処置

事故発生時は、早急に「保健管理センター」又は「学生課」に報告して下さい。負傷者が重傷で、「保健管理センター」では対処できず、病・医院にて応急処置を受けた場合、一定の負担要件を満たしたときは、学校側が応急処置費の一部又は全部を負担することがあります。

また、これ以外に傷害時の保険として、学生傷害保険に全員が加入しています。

健康相談及びカウンセリング

有意義な学生生活を送るため、健康状態、対人関係、性格、適性等についての悩みごとがあるときは、気軽に教職員又は専門のカウンセラーに相談して下さい。相談内容については、秘密を厳守します。相談日は「保健管理センター」前の掲示を参照してください。

その他

上記の他に、学生生活危機管理ハンドブックの配布や履修相談等、キャンパスライフ全般の支援をしていますので、気軽に大学職員まで声を掛けてください。